

# すみた 議会だより

  
No.172  
令和3年  
1月29日



## 迎春 新年の抱負

防災倉庫を整備

我が町政を問う（6議員が一般質問）

木工2事業体をめぐる経緯

すみた想い人

②

④

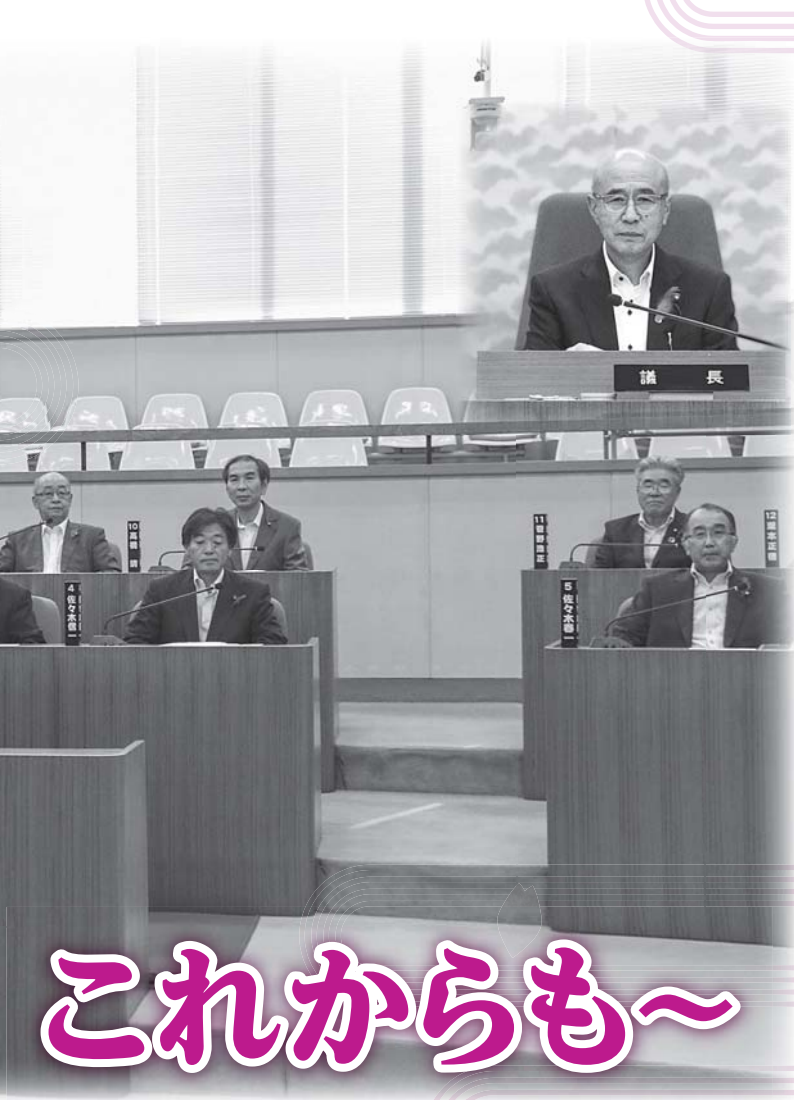
⑥

⑭

⑰

「今年も咲いたよ、お団子の花  
幸せいっぱい届けます。」

《世田米保育園》 関連記事20p



# これからも～

取り組んでまいります  
住田町議会議員一同

# 迎春

## 新年の抱負

令和3年を迎え、各議員の今後にかかる思いや願いを「一文字」に、「新年への抱負」を紹介します。

# 今

●漢字一文字



議長  
瀧本正徳議員

抱負：今があって、明日がある。観見二眼の心で、町の将来を見据え、今すべきこと、できることを忠実に、鋭意努力の一年としたい。

# 福

●漢字一文字



高橋靖議員

抱負：町の課題に取り組み、幸福な住みたい町づくりに努力したい。

# 展

●漢字一文字



村上薫議員

抱負：デジタル変革の展開とI・L・C実現に岩手・日本の発展を託す。

# 夢

●漢字一文字



林崎幸正議員

抱負：夢を見て、頑張りましょう！

# 拓

●漢字一文字



荻原勝議員

抱負：コロナ禍は継続中ですが、耐えて生きて、ワクワクする未来を拓く。

# 為

●漢字一文字



佐々木信一議員

抱負：コロナ禍に負けるな。為せば成る、為さねば成らぬ、何事も。

# ～この町のために



輝

●漢字一文字



副議長

菅野浩正議員

抱負：謹賀新年。早期の新型コロナウイルス感染症の収束をご祈願申し上げます。決意を新たに光輝く、安全・安心のまちづくりを目指します。

## これまでも

## 今年も議員全員で

解

●漢字一文字



菊池孝議員

抱負：本年は、木工団地、そして、コロナの収束に向け、解決を願う。

向

●漢字一文字



阿部祐一議員

抱負：ワクチン接種の早期実施が望まれる。コロナが終息に向かってほしい。

声

●漢字一文字



佐々木春一議員

抱負：町民の声に寄り添い苦難軽減・命と暮らしを守ります。

和

●漢字一文字



佐々木初雄議員

抱負：住民の福祉の向上で、住みたい町・住み続けたい平和な町の実現。

守

●漢字一文字



水野正勝議員

抱負：激動の年になります。住田町を守るために最善を尽くします。

第11回定例会  
(12月議会)  
あらかし

# 物資等を備蓄



△ 防災倉庫で保管される食料備蓄品の一部。

感染症拡大防止

# 光熱費支援給付金倍増

第11回定例会(12月議会)は、12月8日から11日までの4日間の会期で開かれました。一般質問には、6人の議員が登壇。新型コロナ対応、災害対策、生活改善センター、男女共同参画などについて町の考えをいただきました。

本会議では、町条例の一部改正や補正予算、財産取得など**全8議案を原案どおり可決**。9月議会後に審査を継続してきた緊急経済対策に「消費税率5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願は、賛成少数で不採択となりました。

家計支援

## 全世帯対象 2万円給付

**問** 光熱費支援給付金が増額された経緯は。

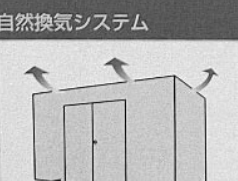
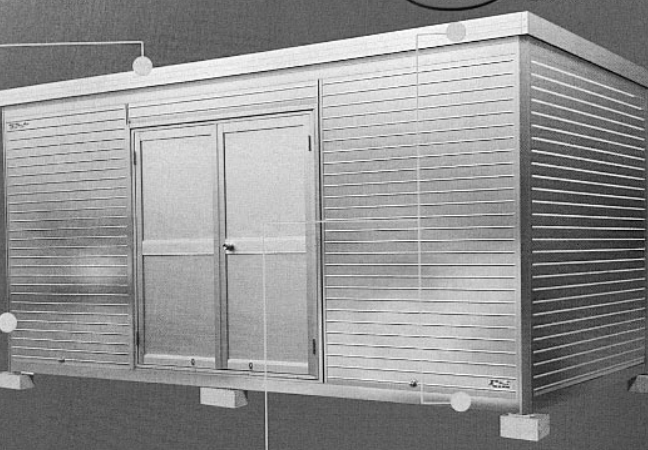
**答** 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、さらなる外出自粛が考えられるため、出来る限りの家計等の支援という事で判断した。

**問** 支援給付金のさらなる増額の考えは。現時点でさらなる増額は考えていない。

**問** 住民税非課税世帯への加算金も5千円から1万円に倍額となるが、対象世帯数は。

**答** 600世帯を見込んでいます。

**問** 住民税非課税世帯の確認方法は。給付申請書の中で、所得確認をするための了解もいただいています。



自然換気システム



アルミの再利用について

アルミは、酸化しにくく融点が低いという特性によりリサイクルが容易です。

# 災害に備え 応急救助

災害対応

## 防災倉庫5棟整備

避難所関係の備品や食糧等の備蓄品を避難所に常時保管するための防災倉庫を整備。倉庫は断熱仕様で換気扇付きのオールアルミ製。役場、社会体育館、生涯スポーツセンター、上有住地区公民館、五葉地区公民館の5か所に整備する。

災害時に住民への早急な備蓄品の供給が可能になるなど、災害対応の利便性が高まる。

△ 耐候性、耐久性にも優れたメンテナンスフリーの防災倉庫。

**問** 倉庫の規格及び棟数

● 倉庫の規格及び棟数

- ・幅 4 m、
- ・奥行 2・4 m
- ・高さ 2・37 m (1棟)
- ・幅 2・5 m、
- ・奥行 2・4 m
- ・高さ 2・37 m (4棟)

● 落札業者

オフィスサービス  
代表 及川 昇

● 取得予定価格  
1033万円

**問** 大股地区の避難所には整備されないのか。

**答** 大股地区公民館は建物内に収納スペースが多くあり、備品保管が可能のため整備は行わない。

**問** 倉庫で保管する備蓄品の内容は。

**答** 避難用テント、多目的簡易ベット、発電機、衛生用品、毛布、タオル、飲料水、食料類などを考えている。

**問** 災害時は昼夜を問わず対応しなければならぬ。倉庫に照明は取り付けられているのか。

**答** 照明は備わっていない。ソーラーでの電源確保なども検討したが、予算が高額となり設置を見送った。

**問** 倉庫の利用にあたってはどのような体制をとるのか。

**答** 今年度より町内5地区に防災の地区担当職員を配置している。まずは地区担当職員が駆けつけて業務にあたる。将来的には、地区公民館や自主防災組織とも意見交換をしながら、地域でも活用してもらえような方向で進める。

## 経済対策第4弾 すみチケ未来

新型コロナウイルス感染症に係る町の独自経済対策第4弾として、予約で応援住田チケット「すみチケ未来」と先に発行している、使って応援住田チケット「すみチケ+」をセットで販売。新たに発行する「すみチケ未来」は新型コロナウイルス感染症収束後の飲食店利用を見据えた先払い制の食事券となる。この2つの券の利用を通し、長引く地域経済への影響に対する支援と活性化を図る。

「すみチケ未来」500円券10枚(5000円)と「すみチケ+」500円券20枚(10000円)を1セットとし、5000円で発行する。利用期限は、「すみチケ未来」が令和3年3月1日から令和3年12月31日まで、「すみチケ+」が、令和3年2月28日までとなる。

<b>請願のゆへえ</b>	請願第2号	緊急経済対策に「消費税率5%への引き下げを求める意見書」の提出を求める請願
	請願者の住所・氏名	盛岡市松尾町19-8 岩手県商工団体連合会 会長 関沢 浄 他6団体
	紹介議員	林崎幸正、佐々木信一
	付託常任委員会	総務教民常任委員会
	審査の結果	不採択と決定
	本会議での採決	賛成少数で不採択

# 一般質問

# 我が町政を問う

## 新型コロナ・ 木工団地2事業体・ 農業振興などで論戦

### 6人の議員が質問

ページ	質問者 (登壇順)	質問項目
7	荻原 勝	① 来年度の観光振興 ② 地域防災対策
8	佐々木春一	① 高齢者福祉・介護事業及び生活支援 ② 図書館並びに生涯学習センターの整備 ③ 応急仮設住宅跡地の利活用
9	水野 正勝	① コロナ禍での健康づくり ② 男女共同参画社会の実現
10	村上 薫	① 木工2事業体破産後の住民説明会と今後の対応 ② 町行政のデジタル化推進 ③ コロナ禍における新年度予算編成
11	佐々木信一	① 国道107号改良整備 ② 農業振興について
12	阿部 祐一	① 新型コロナウイルス感染症の拡大に関わる対策 ② 農業振興について ③ 神田町政一期目の成果と課題

なお、全文記録（議事録）は、2月下旬から役場庁舎2階の総務課と町のホームページ上で閲覧できます。

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり、施策執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質すこと。質問の方法は、1回目は一括して質問しますが、2回目以降は一問ずつ質問する一問一答方式を採用しています。持ち時間は、答弁を含めて60分です。

# 問 どう取り組む観光振興

## 答 観光動向を注視し推進

**問** ウイズコロナからアフターコロナに転換する

である。来年度の観光振興にどう取り組む考えか。

**答** 町長

アフターコロナへ転換の期待はあるが、慎重な対応が必要である。町内観光業者にとっても、柔軟性と迅速性をもって前向きに取り組まなければ厳しい時代である。観光動向を注視し、短期的な目標を設定し柔軟に変化

させながら推進する。

**問** デイステイネーション（観光地紹介）キャンペーンへの取り組みは。

**答** 町長

東北デイステイネーションキャンペーンホームページの中に、道の駅ほらん、民俗資料館、滝観洞、森の案内人と行く散策などを登録している。スタンプリーの企画に、まち家世田米駅、滝観洞を

登録予定である。

**問** 潮風トレイルへの取り組みも考えてはどうか。

**答** 農政課長

潮風トレイルは、環境省が三陸復興のための国立公園の観点から沿岸部に整備したもののだが、森林部分の種山や五葉山の散策なども魅力として打ち出すべきものであり、機会を捉えて連携を図っていければと思う。



おぎわら 荻原 まさる 勝 議員

地域の何気ない暮らしや  
伝統文化を提供する観光  
って難しいのかなあ…。

議員のつぶやき

我が町政を問う

# 問 避難指示一本化への対応は

## 答 防災計画を改正・周知

**問** 来年度から避難勧告を廃止し避難指示に一本化する国の動きがある。どう捉え対応していく考えか。

**答** 町長

国の中央防災会議の有識者会議において、2つの情報が避難指示に一本化される案が了承された。今後、災害対策基本法が改正され、来年度には施行される予定である。

現在、レベル4に避難勧告と避難指示の2つの情報があり、違いが分かりにくかった部分が整理されるものと捉えている。

地域防災計画を改正し、災害対策基本法の改正時期に併せて町民への周知を図っていきたい。

**問** 防災福祉マップづくりの成果や課題、今後の展開は。

**答** 町長

要援護者の再確認や地域コミュニティの再構築に役立っている。マップの定期的な見直し作業が課題となっている。町としては町内全域において防災福祉マップづくりの展開を期待するとともに、その作成を支援していく。



△ 町内12地区で取り組まれた防災福祉マップづくり。

# 問 第8期計画の策定方針は

## 答 防災・感染症対策盛り込む



さ さ き はるかず  
佐々木春一 議員

我が町政を問う

保険給付費の増加が見込まれる中で、介護保険料額の見直しは…増額は避けたいが。

議員のつぶやき



△ 介護保険事業所の拠点となる保健福祉センター。

**問** 本町の高齢者を取り巻く現状と課題は何か。  
**答** 町長 高齢化率の伸び率は高く、要介護認定者数は年々増加し、保険給付費も増加の一途。より進む高齢社会を見据えた保健福祉関連事業と高齢者の生活支援に取り組んでいかなければならない。

**問** 第8期老人保健福祉計画・介護保険事業計画策定にあたって、災害や新型コロナウイルス感染症対策が重要と考えるが。  
**答** 町長 防災や感染症対策の周知啓発と研修、訓練の実施。物資の備蓄と調達、輸送体制の整備、災害や感染症発生時の支援など応援体制の内容を盛り込む。

# 問 仮設住宅跡地の利活用は

## 答 地域要望を踏まえて

**問** 下有住地区活動組織から10月に仮設住宅中上団地の跡地利活用の要望書が提出されたが対応方針は。  
**答** 町長 要望の内容は、仮設住宅敷地からプールまでの整地及び芝生化、トイレ等の整備。リハビリ機能を併設した集合住宅、高齢者住宅の整備という2案。地域からの要望や地



△ 待たれる仮設住宅中上団地跡地の利活用。

域デザイン会議での検討内容も踏まえ、整備計画を取りまとめいく。

**問** 庁舎周辺整備事業と併せ、生活改善センターの改築工事等を進めるとしているが整備計画は。  
**答** 町長 図書、中央公民館、学童等の機能と、これからの新たな活用の可能性、財政状況を鑑み、役場内

**問** 新たな施設は、図書館並びに生涯学習センターとして整備しては。  
**答** 町長 教育振興基本計画にお

いて、更なる生涯学習推進のため、中央及び地区公民館の役割の明確化と機能、図書室の充実を図るとしている。町民の意見を取り入れながら、効果的な整備につなげていくよう検討を進める必要があると考える。

# 問 図書館機能の充実を

## 答 年度内をめどに計画



# 問 健康セルフサポート事業は

## 答 住田型の構築をめざす

**問** コロナ禍での健康事業の現状は。

**答** 町長

ミニデイサービスやリハビリサロンなどの事業に影響が出ている。がん検診や特定健診の受診率は昨年度を下回っている。

。地域ミニデイサービスでは、電話や職員の個別訪問により健康状態の把握をしている。住田テ

レビを活用した健康体操や糖尿病予防の料理番組制作にも取り組んでいる。

**問** 感染症にかかりにくい体づくりや重症化しない体づくりのためには。

**答** 町長

**問** 健康づくり施策への取り組み状況は。

**答** 町長

集団での健康教室から個人でできる健康づくり施策に変更し実施している。

新型コロナウイルス感染症は、解明されていない部分が多い。基本的な

生活習慣の改善に努めた職員の相当数は※体組成データが改善された。今後は住田型の健康セルフサポート事業を構築し、モデル地区を設定するなど、効果的な健康づくり事業にしていく。



まさかつ 正勝 議員  
みずの 水野

女性が元気の住田町に。議会には初の女性議員誕生を。

議員のつぶやき

我が町政を問う

# 問 男女共同参画の課題は

## 答 対等な環境づくり

※体組成データとは  
体は大きく分けて脂肪、筋肉、骨、水分の組成分によって構成されています。体組成計によって計測される体脂肪率や筋肉量、基礎代謝量、内臓脂肪レベルなどを数値化したものです。



△ 平成30年11月22日、町婦人団体連絡協議会によって初開催となった女性議会。

**問** 第2次住田町男女共同参画計画が示されたが、町の現状と課題は。

**答** 町長

長年の性別による固定的な役割分担意識が根強く残っている。各種審議会などの女性登用や職場での管理職等への登用割合が課題。すみよい町づくりのためには、男女が対等な立場で参画できる環境づくりが求められる。

加えて、町内の団体や企業、職場への意識啓発のための広報活動に取り組んでいく。

**問** 役場内での男女差の少ない各課の人員配置や採用に努めてはどうか。

**答** 町長

男女差の少ない職員配置に努めている。能力のある女性職員が、管理職等に登用される環境の整備をさらに進め、女性の視点をより活かした行政を推進する。

**問** 今後の重点的な取り組みは。

**答** 町長

講座や学習会の開催に

# 問 どう応える 町民の厳しい声

## 答 裁判の状況踏まえ対応



むらかみ 村上 かつら 薫 議員

我が町政を問う

木工に係る提訴は第3コーナー。不能欠損処理の第4コーナーもある。

議員のつぶやき

**問** 木工団地2事業体破産後、住民説明会が町内5地区で開催された。多額の公金融資や町対応、貸し手責任を問う厳しい指摘が多く上がった。どのように受け止め総括しているか。

**答** 町長

町民からは厳しい意見を頂いたと捉えている。今後は、裁判が進む中で様々な立証がなされ、その状況を踏まえ対応していく。

**問** 11月24日、町債権総額13億4400万円に係る第1回債権者集会が開かれた。その結果と不能

欠損処理、貸し手責任をどのように捉え対処する考えか。

**答** 町長

町の債権回収は非常に厳しいと捉えている。今後は、状況を踏まえながら、町顧問弁護士、対策チーム、議会と協議し対応していく。

**問** 継承木工事業体の経営安定には、老朽化設備の更新は欠かせない。町の支援状況は。

**答** 林政課長

現在、県の指導を得ながら国への申請書類を整えている。

## 問 デジタル変革 当町への取り組みは

## 答 必要性認識 国の動向注視

**問** 菅政権は、重要施策の一つに世界から立ち遅れている第4次産業革命のデジタル変革を強力に推進するとしている。どのように捉えているか。

**答** 町長

当町も、今後デジタル化への取り組みが必要と認識している。

**問** デジタル技術の活用で自治体間に差ができてきた。「スマートシティ」をどのように取り込むか。

**答** 町長

現段階では国が進める自治体の事務システムの

**答** 町長 国のデジタル化動向を注視し、過疎地域の当町課題にどのような先端技術が効果的で住みやすい環境づくりに結び付くか検討していく。

**問** デジタル変革に戦略的に取り組むための人材の確保・育成をどのように図る考えか。

**答** 町長

新型コロナウイルスでの、事業執行をどのように展開する考えか。

## 新年度予算編成

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策や町内経済の影響に対する施策もふまえながら、健全な財政を将来の世代に引き継ぐこと、住民サービスの向上を念頭に予算措置と執行に臨みたい。

## ※デジタル変革

情報技術の普及・浸透による「社会のデジタル化」がもたらす組織や社会の変革を指す言葉。



△ 5地区で開催された三木・ランパー破産に係る「住民説明会」。

# 問 白石峠・荷沢峠の改良整備を

## 答 新トンネル化の要望

**問** 白石峠は、県立大船渡病院への救急搬送や災害時の傷病者搬送等、重要な路線であるが、冬期間の路面凍結など、安心で安全な通行を阻害する要因が多い。また、荷沢峠は、内陸部との物流や交流人口の拡大・観光振興において重要な路線である。急カーブや急勾配、冬季間の路面凍結など走行上の課題が多い。早期の改良整備や新たな

トンネルの整備を進めるべきと思うが。

**答** 町長

国道107号は、大船渡市方面へは、多くの町民が通勤、通学、通院などで利用している。

また、気仙地域と北上以北の内陸部を結び、東北自動車道にも接続となり、気仙全体にとって産業経済の生命線の一つ。県では、平成29年度から道路構造などの調査を

実施しているが、特に白石峠については、現在トンネルを含めて整備のあり方を検討している。

危険箇所等の改良については、かねてより町単独でも要望してきたが、気仙3市町、遠野市、各経済団体の連名で107号の改良整備の早期事業化の要望も行ったところである。今後も、着実に事業化が図られるよう要望を継続していく。



ささきしんいち 議員  
佐々木信一

今年もたわに  
実った柿。  
特産品開発に結び  
つけられないものか。

議員のつぶやき

我が町政を問う

# 問 果樹生産の可能性は

## 答 生産技術確立が課題

**問** 本町農業における果樹生産の可能性と、これまで取り組みの検討がなされた経緯は。

**答** 町長

農業の生産に取り組み担い手が少ない中で、生産技術が確立されていない果樹生産への取り組みはリスクが高い。10年位前に柿の生産加工について検討した経緯がある。

近づけ農作物への被害や人的被害の要因ともなっている。柿の有効活用の考えはないか。

**答** 町長

**問** 町内全域で柿が収穫されず、放置状態が多く見られる。鳥獣を人里に

10年前に里に鳥獣を寄せ付けない対策として、放置されている柿の収穫、販売をしてはどうかと提案したが、取り組んだ方はいなかった。町内の柿の生産量とコストとのバランス、加工の課題等から柿の有効活用の可能性は低いと捉えている。



△ 早期の改良整備が望まれる白石峠。

# 問 予防接種の時期は

## 答 早期ワクチン接種体制を整備



あべ ゆういち  
阿部 祐一 議員

我が町政を問う

景気の動向が心配だなあ。

議員のつぶやき

**問** すみチケ、すみチケプラス事業の町内での効果をどのように捉えているか。

**答** 町長 両チケットの販売は、消費喚起や事業者等の売り上げ回復に効果があったと捉えている。6月から来年2月末までに総額1億2千6百万円ほどが町内で消費される。新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受けた事業者を応援しようとする経費を町民と町が出し合ったことは、大変意義あること。今後も、この動きを生かした事業展開ができるよう住民、関係者と知恵を出し合い取り組んでいく。

**問** 新型コロナウイルス感染症を克服するためには、早期のワクチン接種が望まれる。本町における予防接種の時期はいつ頃か。

**答** 町長 新型コロナウイルスのワクチン接種無料化を柱とする改正予防接種法が成立した。実施主体は市町村となり、接種体制確保に係る自治体説明会が12月18日に開催される予定であり、現時点で詳細はまだ示されていない。ワクチンの接種時期も未確定であるが、医師会等関係機関と協議しながら早期の接種体制整備に努めていく。



△ 両チケットは、消費喚起や事業者の売上回復に効果があった。

**問** 神田町政がスタートして3年が経つ。一期末の成果と課題は何か。

**答** 町長 「医・食・住の充実」「人づくりの基本となる教育の推進」を町政の目標に町づくりに取り組む。み、各分野において本町の振興に一定の成果を果たせたものと考えているが、各分野で課題も山積している。新型コロナウイルス感染症の状況は不確定な部分もあるが、各種課題に取り組み「支えあう共生の町」づくりを進めていく。

**問** 来年7月には町長選挙が予定されている。引き続き町政を担う考えはあるか。

**答** 町長 長年の課題であった木工団地に係る訴訟対応、産業振興など課題は山積している。現在は、新型コロナウイルス感染症対応等、まさに経験のない状況下で町民の生命と暮らしを守るための施策に取り組んでいる。今後の町政に関する対応を含め、一部関係者より様々な意見をいただいているが、まずは、優先されるべき事項に傾注しつつ判断していきたい。

# 問 引き続き町政を担う考えは

## 答 優先事項に傾注

# 住民と議員との懇談会

## 地域の声を共有

	男	女	計
五葉中自治公民館	7	8	15
東峰自治公民館	12	0	12

議会では「住民と議員との懇談会」を毎年開催しています。令和2年度は、11月14日から21日まで7会場で開催を予定していましたが、コロナ禍のため5会場は中止。2会場での開催となりました。



△ 東峰自治公民館では、木工団地2事業体問題の他、川向地区街路灯への要望など地域課題にも意見が。

### 貸付金処理

**Q** 木工2事業体の貸付金処理との関わりから今後、税金や上下水道料金などが引上げになることがあるか。(五葉中)

**A** 三木・ランバーに關連しての増税や料金引上げはない。

### 道路整備

**Q** 県道釜石住田線「おとし」付近の整備促進を。監視カメラ設置も要望する。(五葉中)

**A** 安全な通行確保が必要であり、早期に整備されるよう県に働きかけていく。監視カメラ設置は現在考えてない。

**Q** 町道野々前線(みち

のくくボタ脇)を早期に道路改良してほしい。

**A** 実施時期は未確定であるが、順次整備は進めていく。

### 交通安全

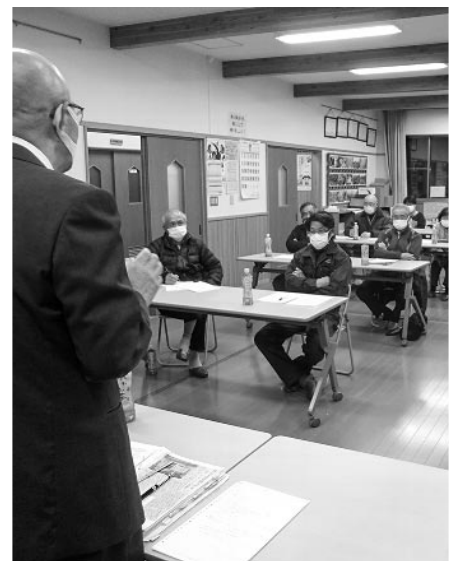
**Q** 川向地区は制限速度が30km。通学路でもあり速度制限の徹底を。

**A** 歩行者の安全対策と、事故防止の観点から、改めて広報等で周知徹底する。

### 住環境整備

**Q** 旧住田分署跡地の町営住宅建設にともないゴミステーションの更新を。(東峰)

**A** 町営住宅の入居者に



△ 五葉中自治公民館では、木工団地2事業体問題の他、除雪、サル被害対策などにも話が及んだ。

### 災害対策

**Q** 中沢川の町道・林道の橋下の土砂や流木の撤去による災害対策を。(五葉中)

**A** 橋付近は土砂除去等で一定の改善ができるかどうか検討する。流木は、山の管理に留意いただきたい。

### 滝観洞安全対策

**Q** 滝観洞通路の危険箇所

の対策は。(五葉中)

**A** 洞内の地面は滑りやすく傾斜もあり危険性は把握している。今年度、滑落防止用の手すりを補強予定である。

### 子育て支援

**Q** 保育園の預け入れは朝7時30分からだだが、早められないか。(東峰)

**A** 園児の安全確保などの観点から、現状の職員体制で時間延長は難しい。現状の開所時間でご理解いただきたい。



# 第10回 臨時会 のあらまし

## 木工団地2事業者 三木・ランバー 破産に伴う提訴

### 木工団地2事業者を巡る経緯

第10回臨時会は、10月21日に開かれ、農林業振興資金貸付金の支払いを求める訴えの提起に関し議決を求めることについて原案どおり可決しました。

木工団地の設立から2事業者への融資、経営破綻に至った経緯を振り返ります。

#### 【提案理由】

町は、平成18年4月14日付け、平成19年10月24日付け及び平成20年1月24日付けで、三陸木材高次加工協同組合及び協同組合さんりくランバーに貸し付けた農林業振興資金貸付金総額7億9千万円について、令和2年7月31日に三陸木材高次加工協同組合及び協同組合さんりくランバーが盛岡地方裁判所一関支部において破産手続き開始決定を受けたため、連帯保証人及びその相続人に対し、貸付金に相当する金銭及びこれに対する利息、違約金並びに訴訟費用の支払いを求めるため、訴えを提起するものです。

#### 【融資の状況】

事業者への融資額	融 資 額	返 済 額	融資残額
三陸木材高次加工協同組合 (H18.4, H19.10, H20.1)	400,000,000円	12,728,2658円	387,271,735円
協同組合さんりくランバー (H18.4, H19.10, H20.1)	390,000,000円	9,000,000円	381,000,000円
合 計	790,000,000円	21,728,265円	768,271,735円

令和3年 1月15日	令和2年 10月24日	令和元年 9月13日	令和元年 5月30日	令和元年 5月22日	平成31年 3月31日	平成30年 1月29日	平成29年 7月22日	平成29年 7月17日	平成29年 3月26日	平成29年 3月10日	平成29年 4月16日	平成29年 8月8日	平成29年 7月11日	平成29年 6月9日	平成29年 4月25日	平成29年 2月14日
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
・第1回口頭弁論	・第1回債権者集会 ・臨時議会で訴訟提起議決 ・盛岡地方裁判所一関支部へ訴訟提起 ・住民説明会（調停申し立てから破産手続き開始決定、両事業者の連帯保証人とその相続人に対する提訴に至るまでの経過を報告） ・破産手続き開始決定 ・両事業者破産申請 ・三木4月経費の未払いが発生 ・町が依頼した公認会計士から報告	・事業者からの分析結果の内容精査のため公認会計士に依頼 ・事業者より分析結果の報告（具体的返済計画、運営計画提出なし） ・事業体に通知（9月末までに具体的返済計画、運営計画の回答を求める）	・第7回対策チーム（情報共有、通知確認）	・事業者から催告書に対する回答（公認会計士による分析を行う、分析には6カ月を要する、今後の方向性を検討） ・事業体に催告書通知	・第3回対策チーム（情報共有、催告書通知確認）	・対策チーム立ち上げ（債権回収、債権整理手法等について検討し課題解決を目指す） ・第6回調停（不成立で終結）	・第5回調停 ・第4回調停 ・第3回調停 ・第2回調停 ・第1回調停	・町が債務支払いを求める調停申し立て （両事業者・連帯保証人・相続人） （両事業者を報告） ・臨時議会で調停申し立て決議 ・両事業者の連帯保証人・理事者との意見交換会 ・両事業者の債権に関する説明会 ・両事業者の今後の運営についての提案説明								

# 木工団地2事業体の概要

## 【三陸木材高次加工協同組合】

- ・平成10年設立（平成11年6月稼働）
- ・総事業費：約15億円（創業時）
- ・事業部門：集成材加工、乾式防腐等
- ・出資団体：18団体（大槌・気仙川流域）
- ・出資金：4,500万円
- ・雇用：42名
- ・令和元年度売上 約14億2千万円

## 【協同組合さんりくランバー】

- ・平成14年設立（平成15年3月稼働）
- ・総事業費：約5億円3千万円（創業時）
- ・事業部門：ラミナ製造
- ・出資団体：6団体（大槌・気仙川流域）
- ・出資金：2,480万円
- ・雇用：10名
- ・令和元年度売上 約3億円

## 【木工団地2事業体の経済効果】

- 従業員の雇用  
(地域の消防団、PTA活動、公民館活動等に貢献)  
三陸木材：最終 42名（最大 H22…72名）  
ランバー：最終 10名（最大 H23…24名）
- 税収 固定資産税、法人住民税、住民税等
- その他地域への波及効果例  
敷地料、電気料、燃料、修繕、輸送費、  
消耗品・部品代等



平成10年	平成11年	平成14年	平成15年	平成18年	平成19年	平成20年	平成23年	平成24年	平成27年	1811 日・月・日	1111 日・月・日	1111 日・月・日	1111 日・月・日
6月	3月			3月	10月17日	1月2月	12月6日	1月7月	5月12月	7月24日	11月10日	11月22日	11月15日

- ・三陸木材高次加工協同組合設立
- ・三陸木材高次加工協同組合稼働
- ・協同組合さんりくランバー設立
- ・協同組合さんりくランバー稼働
- ・計 1億2,000万円
- ・三木 8,000万円
- ・ランバー 4,000万円
- ・計 1億2,000万円
- ・三木 2億0,000万円
- ・ランバー 1億円
- ・計 3億円
- ・定例議会
- ・農林業振興資金貸付金基金条例を制定
- ・基金の額 1億5,000万円
- ・1回目融資
- ・三木 2億円
- ・ランバー 1億円
- ・計 3億円
- ・両事業体業績改善計画書の提出
- ・臨時議会
- ・農林業振興資金貸付金基金条例の一部改正
- ・基金の額を1億5,000万円から6億円に増額
- ・2回目融資
- ・三木 2億円
- ・ランバー 1億円
- ・計 3億円
- ・両事業体業績改善計画の提出
- ・臨時議会
- ・農林業振興資金貸付金基金条例の一部改正
- ・基金の額を6億円から10億円に増額
- ・3回目融資
- ・三木 1億2,000万円
- ・ランバー 2億5,000万円
- ・計 3億7,000万円
- ・農林業振興資金貸付に係る償還計画変更の提案説明（平成26年度から25年返済にしたい旨経営改善計画と償還計画が示される。）
- ・三木への町職員派遣開始
- ・臨時議会
- ・農林業振興資金貸付金基金条例の一部改正
- ・基金の額を6億円から10億円に増額
- ・3回目融資
- ・三木 1億2,000万円
- ・ランバー 2億5,000万円
- ・計 3億7,000万円
- ・両事業体の経営内容を中小企業診断士より説明を受ける
- ・議会より町長に木工団地の運営にかかる申し入れ書を提出
- ・町議会と木工団地2事業体との意見交換会（経営支援アドバイザーより事業体の経営状況報告）
- ・初の返済
- ・返済初年度償還なし
- ・両事業体の経営状況と今後の経営についての意見交換会
- ・町議会と木工団地2事業体との意見交換会（経営支援アドバイザーより事業体の経営状況報告）
- ・住民懇談会（5会場） 両事業体の経営状況

調査事項

# 『付加価値を高める農林業振興』

## 林業従事者との意見交換会



■調査事項

農林業振興について

■調査活動

●日時

令和2年10月28日

●内容

林業従事者等との意見交換会

① 新型コロナウイルス感染症と木工団地2事業体破産に伴う林業への影響について  
② 林業振興の課題と方向性について

■調査のまとめ

① 新型コロナウイルス感染症の影響による住宅やマンション等の木材需要が低迷。

② 担い手・後継者確保のための支援策の充実。

③ 植林地における鳥獣被害対策の工夫と試験林設置の検討。

④ 林地残材の資源として有効活用。

調査事項

# 『人口減少時代の自治体政策』

## 町の財政状況を調査

■調査事項

人口減少時代の自治体政策(財政)について

■調査活動

●日時

令和2年10月27日

●内容

令和元年度決算と今後の財政運営について企画財政課と意見交換

① 決算書からみる令和元年度一般会計予算執行状況

② 令和2年度一般会計予算執行状況

③ 基金別残高増減額及び町債現在高と普通交付税措置見込額

④ 地方財政計画に基づく令和3年度普通交付税等の試算

⑤ 地域交付金事業の執行状況

■調査のまとめ

① 交付税・過疎債など、国に借金している部分



② 決算書により、住田町の財政状況を確認。元年度末の起債残高を町民1人あたりにすると134万円になる。これから交付税を引き当てると39万円になる。



# 議員研修会

令和3年1月15日

町政調査会では、議員研修会の一環として、陸前高田市の「東日本大震災津波伝承館」の視察と陸前高田グローバルキャンパスにおいて「まちづくり」の講義を受けました。

## 町政調査会レポート

### パート1

東日本大震災津波伝承館

## 命を守り、海と大地と共に生きる

2011年3月11日に発生した東日本大震災津波からまもなく10年を迎えます。

東日本大震災津波伝承館を訪問し、東日本大震災津波の事実と教訓をあらためて目の当たりにし、自然災害に強い社会を実現することの大切さを学びました。

私たちは、多くの尊い命を失いました。この悲しみを繰り返さないためには、知恵と技術で備え、自ら行動することにより、様々な自然災害から命を守り、そして、自然災害を乗り越えていくことが重要です。

東日本大震災津波を乗り越えて進む姿と二度と



△伝承館ガイドより、東日本大震災津波の脅威と教訓を学ぶ。

この悲しみをくり返さないためにも、是非見学することをお勧めします。

### パート2

### 講義

## 小さな町のまちづくり

～島根県雲南市、海士町を参考に～

- 会場：陸前高田グローバルキャンパス（米崎町・旧米崎中学校）
- 講師：井上 博夫 氏（岩手大学名誉教授・客員教授）



「自律」した自治体と「自律」したコミュニティ

事例の島根県雲南市と海士町のまちづくりは、どちらも、○財政的には国に依存する「小さな町」ですが、自分たちの町のこととは自分たちで決める「自律」した町をめざし、○地域（コミュニティ）の経営も、住民の「自律」したまちづくりを町が支える仕組みを目指したのではないかとし、「住民の主体性がまちづくりの核心、行政は本気で支える関係ができている教訓が紹介され、これからの住田町のあるべき姿を学ぶことができました。

### 雲南市の特徴

「小規模多機能自治体による住民主体のまちづくり」を掲げ、市内30地区ごとに「地域自主組織」による地域づくりとそれを支える地域交付金、地区交流センターの指定管理料で活動する住民の参画・協働の地域力（個性）が活かされています。

### 海士町の特徴

「ないものはない」の精神離島からの挑戦

日本海に浮かぶ離島。イターンやUターンで移住者を迎え人口減少に歯止め。

○島まるごとブランド化で地産地商による地域再生戦略。

○隠岐島前高校教育魅力化プロジェクトで全国からも生徒が集まる魅力的な高校づくり推進。住民の挑戦を行政がしっかりと支えています。

# 追跡レポート⑦〇 一般質問その後 どうなりました

# あの提言

## 生息範囲広がる サル・イノシシ対策

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったか追跡してみました。

質問

### 目に余る 鳥獣被害

年々増える農林業の鳥獣被害。

シカに加え、サル、イノシシの対策を今後どのように展開するか。

答弁

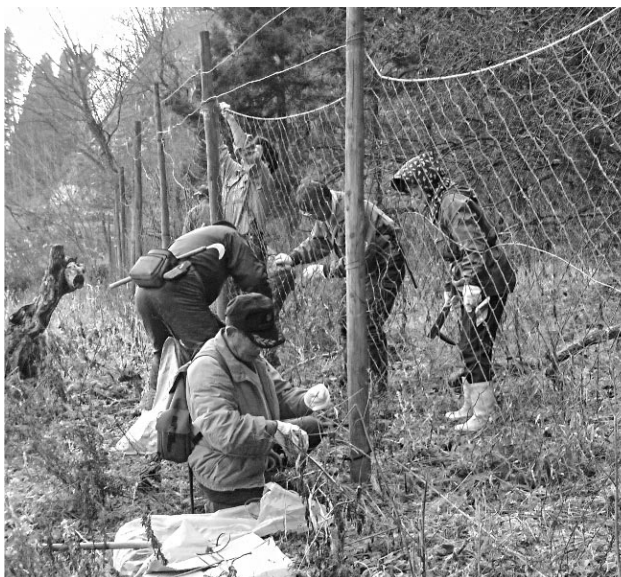
### 生息調査の実施と 研修会を開催

サルやイノシシによる被害は農作物だけでなく、住民への危害も懸念される。今後は、国の事業を活用し、生息調査を実施し対策を検討する。研修会も開催する。

その後

### 今後の被害対策は

防護網と電気牧柵の設置を支援する。金網と電気牧柵を組み合わせた対策を試験している。サルは花火による追い払いも実施している。



△ 集落の共同による防護網の設置に取り組む。

# すみた想い人④

町民の皆さんに登場していただく企画になります。町や議会に対する意見、活動を通して「まちづくり」に對しての想いを紹介していきます。



△ サツマイモの大豊作にお喜びでした。

今回は、五葉地区公民館主事として集落支援に活躍している紺野満さんです。生まれ育った地域で住民の皆さんと共に活力ある地域づくりに奔走しています。

## あふれる自然と人の好きさを感じて



△ 五葉地区公民館主事 紺野 満さん

- Q** 主に活動していることは。
- A** 五葉地区公民館主事(集落支援員)として、高齢者教室の運営や小さな拠点づくりの事務局を担っています。
- Q** 活動の中で大切にしていることは。
- A** 参加していただいた皆さんが、楽しい時間を過ごせるよう心がけ、コミュニケーションを図っています。
- Q** 印象に残った事業はありますか。

## 議会を傍聴しよう!

町議会は誰でも傍聴できます。次の3月議会の予定は下表のとおり。  
生活改善センター議会棟の入口から案内に従って傍聴席へお入りください。

令和2年12月議会の傍聴者は  
**23人**でした。



### 3月議会は

日	月	火	水	木	金	土
	3/1	2	3	4	5	6
		一般質問			本会議	
7	8	9	10	11	12	13
	予算審査				本会議	
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

## 住田テレビ放映もどうぞ



本会議や一般質問の様子は、住田テレビの「議会放送」でもご覧いただけます。  
放映時間は、午後6時からです。

- Q** 小さな拠点づくり事業で毎年新たな取り組みにチャレンジしています。休耕田活用の一環で、昨年度はサツマイモを栽培し、収穫を楽しみました。今年度は、梅の苗木(品種 露茜)を植樹しました。地域の皆さんの協力で実施できています。
- A** 自分はここで生まれ育ったのですが、一時、単身赴任で離れて帰ってきました。人の好きさと自然に溢れた環境をあらためて感じる事ができました。

- Q** 町や議会に望むことは。
- A** 近年、人口減少が著しく、地域のよき伝統の継承が難しくなっています。また、大



△ 梅の木の成長が楽しみです。



パート  
4

# わたしの未来

## 住田町の子どもたちが 将来の夢を語る

コーナーです。  
自薦・他薦も大歓迎。申し  
込みをお待ちしています。

### 看護師になりたい

私の母と姉は看護師です。仕事をしている時の話を聞くと、とても忙しく大変な仕事です。でも、人の役に立つ素晴らしい仕事だということが伝わってきます。今、コロナウイルスの関係で看護師が不足している中、がんばっている家族を応援したいです。そして私も**看護師**さんになりたいです。



世田米小学校5年  
このみゆり  
**紺野 美優里**  
(世田米字川向)

### 数学の先生になりたい

ぼくは、**数学の先生**になりたいです。理由は、教科の中で算数がいちばん得意なので、もっと勉強していきたいです。たくさん勉強したことを分かりやすく、楽しく子どもたちに教えられるような先生になりたいです。



有住小学校6年  
ちば  
**千葉 創**  
(下有住字高瀬)

### 編集後記

広報編集常任委員会  
委員 水野 正勝

あけましておめでとうございます。  
本年も住田町議会への変わらぬご指導ご鞭撻よろしく願いいたします。  
さて、お正月といえば料理ですが、日頃からお母さん方の料理の腕前に驚くことが多々あります。もし「住田町郷土料理コンテスト」なんてイベントがあったら盛り上がりそうですね。

### 表紙の写真



世田米保育園



1月15日。小正月のこの日、世田米保育園ぶどう組(5歳児)の子どもたちは、おじいちゃん、おばあちゃんとみず木団子作りに挑戦。赤や緑といった色とりどりのお団子が飾られたみず木は、見ているだけで「福」が舞い込んできそうな出来栄え。子どもたちの一年が実り多いものとなりますように…そんなおじいちゃん、おばあちゃんの願いも溢れる、立派なみず木団子が出来上がりました。

### 広報編集常任委員会

発行責任者	議長	瀧本 正徳
	委員長	菅野 浩正
	副委員長	佐々木 春一
	委員	佐々木 信一
		佐々木 初雄
		荻原 勝勝
		水野 正

